

ボールの特性レポート

BALL REPORT



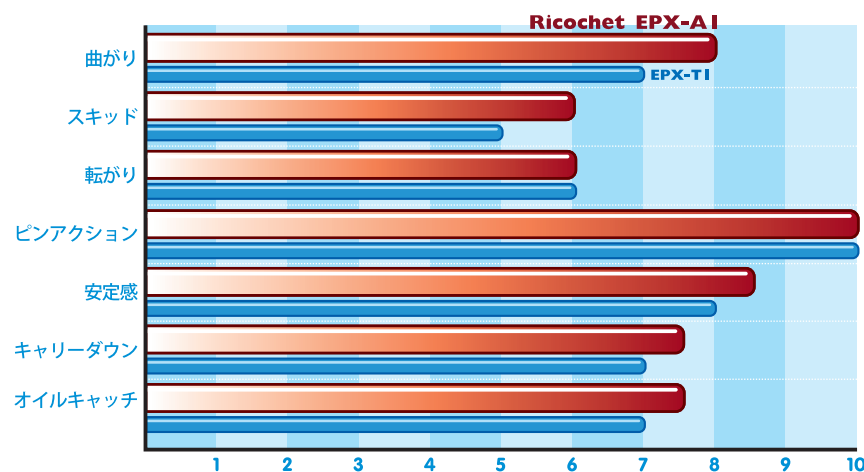
ボール名	リコシェ EPX-A1		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.512	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール		

テストボール	
フレアーの幅	表面加工
	☒ 箱出し状態
インチ	☐ 加工
PAPからピンとの距離	☐ ペーパー
4 3/4	☐ ポリッシュ
インチ	研磨剤
	番

比較対照ボール：EPX-T1	
フレアーの幅	表面加工
	☒ 箱出し状態
インチ	☐ 加工
PAPからピンとの距離	☐ ペーパー
4 3/4	☐ ポリッシュ
インチ	研磨剤
	番



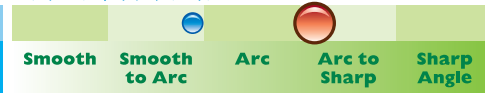
ヘビー
ミディアム
ライト
バフ



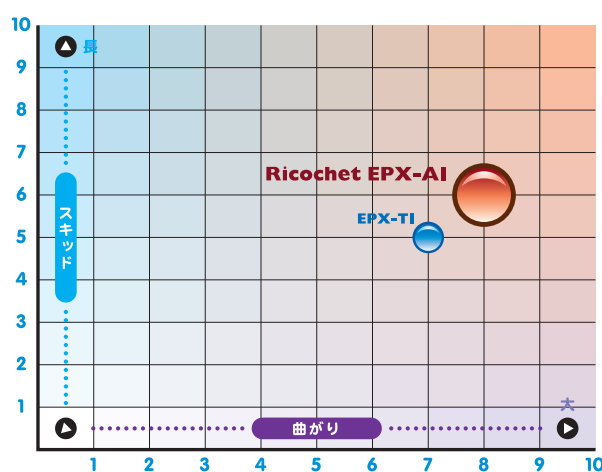
レーンコンディション



バックエンドリアクション



レンジス



ボールの評価

数ヶ月前 EPX T-1 の業界初カタリストカバーストックのボールが発売され、未知なる可能性を秘めた新素材カバーストックとしてのスタートを切りました。今回の EPX A-1 はコア形状を日本で数多く伝説を残しているリコシェコアの比重変更したものを搭載し、カバーストックの添加物をバックエンドにエネルギー放出できるよう配合調節致しました。結果、リコシェコアのリアクション特性も手伝い、先での動きが強調され曲がり幅も大きくなりました。独特なスキッド感のある中にもオイルキャッチをし、ミッドエリアから曲がりだすのは前回の EPX T-1 と同じ。それからバックエンドにかけてシャープに動き出そうとするのがこの EPX A-1 の最大の特徴と言えるでしょう。そのリアクション特性から大きく出して戻すラインも取りやすく、ピンアクションの感じ方もよりヒッティングパワーを感じます。前回の EPX T-1 はコントロール性能を求め、ミッドエリアでの曲がり始めを意識し発売されました。今回の EPX A-1 は日本人好みのシャープなバックエンドリアクションにその目的をおき設計されています。このカタリストカバーストックのボールはパフォーマンスを十分発揮できるようボウラータイプを5種類に分類し各々ドリルパターンを公開しています。そのチャートを参照すると共にピン・アップ（フィンガーグリップより上にピンをセットする）でドリルされることをお勧めします。またメンテナンス方法等に関しては、ネットで公開いたしますのでそちらを参考にしてください。

特記事項

リコシェコアを搭載し、リアクションを強化した EPX A-1。日本人好みのシャープなバックエンドリアクションはカタリストカバーストックの新たな1ページをひらくボールとなるでしょう。